

**6月10日**  
安全に気持ちよく利用するために  
4町内自治会で会館整備



花を植えて景観も良く  
4町内自治会(小澤重会長)の皆さんが6月10日、同会が管理する中央会館の花壇や周辺の整備を行いました。当日は自治会役員らが集まり、会館の補修箇所の確認のため、会館周辺の状況確認を実施。その後、周辺の清掃と、町から配布された花80株を花壇へ植える作業を丁寧に行いました。4町内自治会では今後、同会館の屋根の塗装や、自治会エリア内にある弟子屈小学校周辺の清掃などを実施する予定です。

筋力に合った重りをつけて



南弟子屈の旧昭栄小学校で6月9日、いきいき百歳体操が行われました。南弟子屈の町民自主サークルが主催し毎週行われているもので、当日は6人が参加。ビデオの手本に合わせて、声を出してカウントを取りながら身体全体を使って体操をしました。各地域で町民自主サークルが活動していますが、その先駆けとなったのはこの南弟子屈地域。堀律子さんが代表を務め、日頃から活発に地域活動を行っています。現在、体操の参加者は9人ですが、随時参加者を募集中です。皆さんも楽しく体を動かして健康になりませんか。

**6月9日**  
楽しく運動して100歳まで健康に  
南弟子屈でいきいき百歳体操

南弟子屈の旧昭栄小学校で6月9日、いきいき百歳体操が行われました。南弟子屈の町民自主サークルが主催し毎週行われているもので、当日は6人が参加。ビデオの手本に合わせて、声を出してカウントを取りながら身体全体を使って体操をしました。各地域で町民自主サークルが活動していますが、その先駆けとなったのはこの南弟子屈地域。堀律子さんが代表を務め、日頃から活発に地域活動を行っています。現在、体操の参加者は9人ですが、随時参加者を募集中です。皆さんも楽しく体を動かして健康になりませんか。

**5月26日～28日**  
大きく育てて帰っておいで  
町営牧場に若牛が入牧



5月26～28日の3日間の日程で、町内の酪農家で育てられた若牛が町営牧場・900草原へ入牧しました。家畜車で各農家から運ばれてきた牛たちは、体重測定や個体写真の撮影、消毒などを受けた後、広々とした牧場へ放牧されました。今年、1,128頭もの牛が入牧。これから10月末まで、栄養豊かな牧草を食べ、起伏のある牧場内を元気に走り回り、たくましく成長して畜主のもとへ帰ります。

このページは皆さんからの情報で作られています。どのような情報でもすぐにかかけます。お気軽にご連絡ください。

**カメラスケッチ**



このページは皆さんからの情報で作られています。どのような情報でもすぐにかかけます。お気軽にご連絡ください。



まちづくり政策課広報統計係 ☎482-2913(課直通)

**6月14日**  
事業の本格始動へ向けて  
南弟子屈地域活性化協議会WG開催



23人が集まり意見交換  
南弟子屈地域活性化協議会の平成29年度第1回ワーキンググループが6月14日、旧昭栄小学校で開催されました。当日は前半に、昨年度までの振り返りと5月に協議会のメンバーで行った四国視察の報告会を実施。南弟子屈地域で活かせる取り組みが多数紹介されました。後半は、南弟子屈地域の将来ビジョン達成に向け設定された3つの柱「ライダーハウス事業」「レンタルスペース事業」「飲食事業」の活動について進捗状況報告。新たな取り組みである「飲食事業」を中心に、今後の活動についての協議が行われました。

南弟子屈地域活性化協議会の平成29年度第1回ワーキンググループが6月14日、旧昭栄小学校で開催されました。当日は前半に、昨年度までの振り返りと5月に協議会のメンバーで行った四国視察の報告会を実施。南弟子屈地域で活かせる取り組みが多数紹介されました。後半は、南弟子屈地域の将来ビジョン達成に向け設定された3つの柱「ライダーハウス事業」「レンタルスペース事業」「飲食事業」の活動について進捗状況報告。新たな取り組みである「飲食事業」を中心に、今後の活動についての協議が行われました。

**6月11日**  
懐かしいふるさとの思い出話に花が咲く  
第59回札幌弟子屈会総会を開催



思い出の校歌を斉唱  
札幌近郊に住む弟子屈町出身者で組織する札幌弟子屈会(山田鐵士会長)の第59回総会が6月11日、札幌市で開催されました。今回は町関係者を含め53人が参加。このうち8人が初参加で、一緒に参加した同級生との思い出話で盛り上がりしていました。本町からは徳永町長、八幡豊行町議会議長などが来賓として出席。JA摩周湖の協力で摩周そばの手打ち実演と試食を行ったほか、本町の昔と今の風景や最近の町の動きを写真で紹介しました。参加者からは「摩周そばがとてもおいしかった」「阿寒摩周湖国立公園への名称変更がうれしい」などの声が聞かれました。

札幌近郊に住む弟子屈町出身者で組織する札幌弟子屈会(山田鐵士会長)の第59回総会が6月11日、札幌市で開催されました。今回は町関係者を含め53人が参加。このうち8人が初参加で、一緒に参加した同級生との思い出話で盛り上がりしていました。本町からは徳永町長、八幡豊行町議会議長などが来賓として出席。JA摩周湖の協力で摩周そばの手打ち実演と試食を行ったほか、本町の昔と今の風景や最近の町の動きを写真で紹介しました。参加者からは「摩周そばがとてもおいしかった」「阿寒摩周湖国立公園への名称変更がうれしい」などの声が聞かれました。

**6月3日**  
登山客が安全に楽しむために  
藻琴山で登山道にロープ張り



ロープ張りを待つ皆さん  
川湯エコミュージアムセンターを拠点に自然保護活動などを行っている摩周・屈斜路パークボランティア連絡会(金井秀明会長)の皆さんが6月3日、藻琴山登山道整備を行いました。毎年、土砂崩れが起きやすい場所や希少植物が群生している個所などに立ち入らないよう、注意を促すためにロープを張っています。この日は、頂上付近や屏風岩周辺で強風が吹く中、手際よく作業が進められ、全7カ所に設置。また、ロープ張りのために設置されている杭の交換や登山道沿いの支障枝を撤去する作業も行われ、歩きやすい登山道となりました。

川湯エコミュージアムセンターを拠点に自然保護活動などを行っている摩周・屈斜路パークボランティア連絡会(金井秀明会長)の皆さんが6月3日、藻琴山登山道整備を行いました。毎年、土砂崩れが起きやすい場所や希少植物が群生している個所などに立ち入らないよう、注意を促すためにロープを張っています。この日は、頂上付近や屏風岩周辺で強風が吹く中、手際よく作業が進められ、全7カ所に設置。また、ロープ張りのために設置されている杭の交換や登山道沿いの支障枝を撤去する作業も行われ、歩きやすい登山道となりました。

**5月27日・28日**  
自転車長距離走で弟子屈を満喫  
グランfond摩周に道内外から200人超参加



弟子屈の景色と味を楽しみながら  
第5回グランfond摩周(同実行委員会主催)が5月27-28の両日、町内各地を会場に行われ、道内外から200人以上が参加しました。グランfond摩周はタイムレースではなく、景色やグルメを楽しむ自転車のイベント。27日には、美幌峠パノラマコース80キロ、屈斜路カルデラコース60キロの2コースと、参加者交流会が行われました。28日には、ロングコース120キロ、ミドルコース90キロ、ショートコース60キロの3コースを実施。摩周湖や屈斜路湖などを巡り、チェックポイントでは地場産食材を使用した食も堪能しました。

第5回グランfond摩周(同実行委員会主催)が5月27-28の両日、町内各地を会場に行われ、道内外から200人以上が参加しました。グランfond摩周はタイムレースではなく、景色やグルメを楽しむ自転車のイベント。27日には、美幌峠パノラマコース80キロ、屈斜路カルデラコース60キロの2コースと、参加者交流会が行われました。28日には、ロングコース120キロ、ミドルコース90キロ、ショートコース60キロの3コースを実施。摩周湖や屈斜路湖などを巡り、チェックポイントでは地場産食材を使用した食も堪能しました。

**6月21日**  
町内の子どもたちによる花植え  
摩周森の公園でフラワータッチ事業



お手本を参考に丁寧に作業  
町内の保育園・幼稚園・小・中学校・高等学校が連携して行われる、「平成29年度弟子屈町フラワータッチ事業」が6月21日、摩周森の公園で行われました。花壇整備作業を通して、社会に貢献しふるさとを愛する心とまちづくり意識の醸成を目的として昨年度から行われています。当日は651人の児童・生徒が参加。前半と後半2つの班に分かれ、それぞれ10～15人ほどの縦割りグループを編成し作業を行いました。高校生を中心に、各グループの年長者が園児、小学生のお手本となり、用意された花1,252株を丁寧に植えました。

町内の保育園・幼稚園・小・中学校・高等学校が連携して行われる、「平成29年度弟子屈町フラワータッチ事業」が6月21日、摩周森の公園で行われました。花壇整備作業を通して、社会に貢献しふるさとを愛する心とまちづくり意識の醸成を目的として昨年度から行われています。当日は651人の児童・生徒が参加。前半と後半2つの班に分かれ、それぞれ10～15人ほどの縦割りグループを編成し作業を行いました。高校生を中心に、各グループの年長者が園児、小学生のお手本となり、用意された花1,252株を丁寧に植えました。

**6月16日**  
高校生活を一日体験  
弟中3年みんなの弟高デー



協力して課題に取り組む  
弟子屈中学校(佐藤敬喜校長)の3年生が高校生活を体験する「弟中3年みんなの弟高デー」が6月16日弟子屈高校(木村浩士校長)で行われました。当日は49人の生徒が弟子屈高校へ登校。午前中は中学校教師の授業を受け、給食のない高校生同様、持参したお弁当で昼食を取りました。午後からは高校生と一緒に高校教師による英語と数学の授業を体験。グループワークを取り入れた授業で、参加した生徒たちは「難しかったけれど面白かった」「このような機会がもっとあればいいのに」と満足そうな声が聞かれました。

弟子屈中学校(佐藤敬喜校長)の3年生が高校生活を体験する「弟中3年みんなの弟高デー」が6月16日弟子屈高校(木村浩士校長)で行われました。当日は49人の生徒が弟子屈高校へ登校。午前中は中学校教師の授業を受け、給食のない高校生同様、持参したお弁当で昼食を取りました。午後からは高校生と一緒に高校教師による英語と数学の授業を体験。グループワークを取り入れた授業で、参加した生徒たちは「難しかったけれど面白かった」「このような機会がもっとあればいいのに」と満足そうな声が聞かれました。

**6月5日**  
うまく育てて実も楽しみたい  
果樹の苗木を無料配布



苗木を求めて長蛇の列  
苗木の無料配布会が6月5日、役場前と川湯支所前で行われ、多くの人でにぎわいました。町内の緑化推進のために毎年行われています。今回配布されたのはプラムとクラブアップルで、計100本が用意されました。当日は天気もよく、訪れた皆さんはじっくりと選定し、お気に入りの苗木を見つけて持ち帰りました。会場では緑の募金も行われ、集まった方々が募金に協力していました。

苗木の無料配布会が6月5日、役場前と川湯支所前で行われ、多くの人でにぎわいました。町内の緑化推進のために毎年行われています。今回配布されたのはプラムとクラブアップルで、計100本が用意されました。当日は天気もよく、訪れた皆さんはじっくりと選定し、お気に入りの苗木を見つけて持ち帰りました。会場では緑の募金も行われ、集まった方々が募金に協力していました。

**6月5日**  
悲惨な事故を防ごう  
川湯で旗の波による街頭啓発



交通安全旗を手に交通安全を呼びかけ  
交通事故の多発が予想される夏を迎え、川湯温泉駅前通りと国道391号が接する交差点周辺で6月5日、旗の波街頭啓発運動が行われました。川湯での開催は初めてです。弟子屈町交通安全運動推進協議会と川湯交通安全指導員会が主催し、当日は弟子屈警察署や川湯自治会関係者なども含め約25人が参加。参加者は安全旗を手に、国道351号を往来する走行車両などのドライバーに交通安全意識の向上を訴え、交通事故防止の徹底を図りました。

交通事故の多発が予想される夏を迎え、川湯温泉駅前通りと国道391号が接する交差点周辺で6月5日、旗の波街頭啓発運動が行われました。川湯での開催は初めてです。弟子屈町交通安全運動推進協議会と川湯交通安全指導員会が主催し、当日は弟子屈警察署や川湯自治会関係者なども含め約25人が参加。参加者は安全旗を手に、国道351号を往来する走行車両などのドライバーに交通安全意識の向上を訴え、交通事故防止の徹底を図りました。